

「自分に打ち勝つ」

大東消防署 東分署3部消防隊
消防士 松田 十兵衛(令和5年入職)

「選ばれし者になる!」

中学生の頃から、将来は人から感謝され、誰かを守る仕事に就きたいと考えていました。ある日、大規模災害で活躍する消防士の映像をテレビで見たことがきっかけとなり、消防士という職業に関心を持つようになりました。それ以降、消防の業務を調べていく中で、これほど魅力的で、選ばれた人しかできない職業に憧れを抱き、本格的に消防士を目指すことになりました。



「過去の悔しさを無駄にしない」

採用されてから、半年間消防学校に入校し、消防士として必要な知識、技術を叩き込まれた後、大東消防署東分署消防隊に配属が決められました。半年間の初任教育を終え、憧れの消防士になったと意気込んでいたのですが、実際現場に出ると何の役にも立たず、自分自身を許せない気持ちになったのは今でも忘れません。

そこからは隊の一員になれるよう沢山の訓練に励みました。今思い返してみると、初めは現場で活躍できないのが当たり前ですし、失敗があってその先に成長があると感じています。今後もこの経験を糧に、日々成長し、現場の最前線で活躍できる消防士を目指しています。



「初心を忘れず」

私は2年制の専門学校に通いながら、消防士を目指していました。1年目は複数の消防本部を受験しましたが、どこも合格できず、不安に押しつぶされそうになったことを思い出します。受験生の皆さんも色々な境遇のなか採用試験に挑んでいると思いますし、数十倍を超える倍率を突破するため、日々思考錯誤していると思います。努力すれば誰でもなれる職業ではなく、諦めそうになることもあると思います。ですが自分が消防士を目指した理由を忘れず、消防士になりたい熱い気持ちを誰よりも伝えられた方が合格を勝ち取れると思います。狭き門ではありますが、皆さんと同じ制服を着て仕事できる日を楽しみにしています！

